



## 2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社 高見澤

上場取引所 東

コード番号 5283 URL <https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見澤 秀茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 久保 輝明

TEL 026-228-0111

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	32,545	2.7	607	11.1	802	27.8	389	25.0
2019年6月期第2四半期	33,445	5.7	683	36.3	628	15.9	311	14.4

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 375百万円 (60.8%) 2019年6月期第2四半期 233百万円 (28.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	231.60	
2019年6月期第2四半期	185.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第2四半期	34,937	10,191	28.3	5,887.60
2019年6月期	34,021	9,860	28.1	5,680.40

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 9,897百万円 2019年6月期 9,548百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		25.00	25.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	2.1	900	10.0	1,000	2.9	700	12.1	416.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	1,758,400 株	2019年6月期	1,758,400 株
期末自己株式数	2020年6月期2Q	77,403 株	2019年6月期	77,383 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	1,681,013 株	2019年6月期2Q	1,681,037 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境の改善等を背景に、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中の通商問題、英国のEU離脱問題や近隣諸国における地政学リスクの高まり等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高32,545百万円(前年同四半期比2.7%減)、営業利益607百万円(前年同四半期比11.1%減)、経常利益802百万円(前年同四半期比27.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益389百万円(前年同四半期比25.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 建設関連事業

民間大型工事への建設資材販売が好調であったことに加え、公共工事においても防災減災関連工事へのオリジナル製品納入が順調に推移し、増収増益となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は5,742百万円(前年同四半期比11.8%増)、営業利益は152百万円(前年同四半期比2.1%増)となりました。

## ② 電設資材事業

設備投資案件が減少している状況下にあつて積極的な営業活動を行い、前年同四半期並みの売上を確保しました。また、仕入れコストの削減に取組み、増益となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は15,237百万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益は296百万円(前年同四半期比10.0%増)となりました。

## ③ カーライフ関連事業

石油部門では、燃料販売量の減少と豊野SSの台風19号災害による休業に加え、販売費等経費が膨らんだことから減収減益となりました。オート部門では、新車、中古車ともに販売が好調に推移しましたが、台風19号の影響により車検整備工場が被災し営業休止状態となったため、減収減益となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は7,371百万円(前年同四半期比10.7%減)、営業利益は49百万円(前年同四半期比13.4%減)となりました。

## ④ 住宅・生活関連事業

主な事業として、農産物部門では、台風19号の影響により、きのご培地の工場が一部稼働できなかったことによる生産不足と、天候不順による青果物の取扱量が減少し、減収減益となりました。不動産部門では、建売分譲物件の取扱いが減少し、減収減益となりました。

この結果、住宅・生活関連事業の売上高は4,194百万円(前年同四半期比10.6%減)、営業利益は181百万円(前年同四半期比38.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は19,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,041百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が959百万円増加したことによるものであります。固定資産は15,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が40百万円、無形固定資産が51百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、34,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ916百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は15,711百万円となり、前連結会計年度末に比べ478百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が461百万円、賞与引当金が336百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,293百万円増加したことによるものであります。固定負債は9,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ107百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が135百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、24,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,191百万円となり、前連結会計年度末に比べ331百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益389百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は28.3%(前連結会計年度末は28.1%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて62百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には3,271百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は809百万円(前年同四半期は305百万円の使用)となりました。これは主に売上債権の増加額1,026百万円に対し、税金等調整前四半期純利益608百万円及び仕入債務の増加額1,328百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は472百万円(前年同四半期は823百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出463百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は398百万円(前年同四半期は1,057百万円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の純減額327百万円、長期借入れによる収入1,200百万円、長期借入金の返済による支出1,198百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期連結業績予想は、2019年8月9日の「2019年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,776	3,724
受取手形及び売掛金	11,349	12,308
商品及び製品	2,298	2,480
仕掛品	274	249
原材料及び貯蔵品	309	271
その他	684	698
貸倒引当金	△30	△28
流動資産合計	18,662	19,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,192	9,204
減価償却累計額	△5,677	△5,744
建物及び構築物 (純額)	3,514	3,460
機械装置及び運搬具	6,252	5,729
減価償却累計額	△4,464	△4,140
機械装置及び運搬具 (純額)	1,787	1,589
土地	6,024	6,230
リース資産	266	275
減価償却累計額	△124	△126
リース資産 (純額)	141	149
建設仮勘定	36	47
その他	1,850	1,854
減価償却累計額	△1,584	△1,601
その他 (純額)	265	252
有形固定資産合計	11,770	11,730
無形固定資産		
のれん	221	180
その他	248	237
無形固定資産合計	469	418
投資その他の資産		
投資有価証券	779	842
繰延税金資産	859	768
その他	1,783	1,796
貸倒引当金	△305	△322
投資その他の資産合計	3,117	3,085
固定資産合計	15,358	15,233
資産合計	34,021	34,937

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,510	7,804
短期借入金	6,159	5,697
リース債務	45	47
未払法人税等	352	192
賞与引当金	397	61
環境対策引当金	11	—
その他	1,756	1,908
流動負債合計	15,233	15,711
固定負債		
社債	140	135
長期借入金	6,058	6,193
リース債務	123	131
繰延税金負債	33	21
再評価に係る繰延税金負債	381	381
退職給付に係る負債	1,696	1,671
役員退職慰労引当金	243	249
環境対策引当金	105	105
資産除去債務	50	50
その他	95	95
固定負債合計	8,927	9,034
負債合計	24,160	24,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	8,016	8,364
自己株式	△94	△94
株主資本合計	9,186	9,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	212
土地再評価差額金	101	101
為替換算調整勘定	161	116
退職給付に係る調整累計額	△73	△67
その他の包括利益累計額合計	362	363
非支配株主持分	311	294
純資産合計	9,860	10,191
負債純資産合計	34,021	34,937

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	33,445	32,545
売上原価	28,491	27,613
売上総利益	4,953	4,932
販売費及び一般管理費	4,270	4,324
営業利益	683	607
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	4	14
持分法による投資利益	—	103
仕入割引	88	76
不動産賃貸料	17	17
その他	56	57
営業外収益合計	175	271
営業外費用		
支払利息	56	47
持分法による投資損失	116	—
為替差損	27	1
売上割引	17	19
その他	14	8
営業外費用合計	231	76
経常利益	628	802
特別利益		
固定資産売却益	12	2
投資有価証券売却益	0	—
投資有価証券評価損戻入益	—	5
受取保険金	—	205
特別利益合計	12	213
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	11	1
投資有価証券評価損	3	—
事業整理損	51	—
災害による損失	—	405
特別損失合計	67	407
税金等調整前四半期純利益	573	608
法人税、住民税及び事業税	195	157
法人税等調整額	65	60
法人税等合計	261	217
四半期純利益	311	390
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	389



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	311	390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	39
為替換算調整勘定	△35	△44
退職給付に係る調整額	6	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△16
その他の包括利益合計	△78	△14
四半期包括利益	233	375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239	390
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	573	608
減価償却費	321	327
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	56	28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△346	△336
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	6
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△194	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	48	△16
受取利息及び受取配当金	△12	△17
支払利息	56	47
為替差損益 (△は益)	27	1
受取保険金	—	△205
災害による損失	—	405
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,098	△1,026
たな卸資産の増減額 (△は増加)	172	△173
未収入金の増減額 (△は増加)	411	73
仕入債務の増減額 (△は減少)	887	1,328
未払金の増減額 (△は減少)	△20	55
前受金の増減額 (△は減少)	37	△112
その他	37	△42
小計	△30	952
利息及び配当金の受取額	8	16
利息の支払額	△57	△48
保険金の受取額	—	346
災害による損失の支払額	—	△120
法人税等の支払額	△226	△337
営業活動によるキャッシュ・フロー	△305	809
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△711	△463
有形固定資産の売却による収入	67	24
無形固定資産の取得による支出	△5	△27
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△154	—
貸付けによる支出	△2	△1
貸付金の回収による収入	2	2
定期預金の預入による支出	△104	△137
定期預金の払戻による収入	79	127
その他	7	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△823	△472
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	764	△327
長期借入れによる収入	1,400	1,200
長期借入金の返済による支出	△1,138	△1,198
社債の発行による収入	100	—
社債の償還による支出	—	△5
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22	△23
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△41	△41
非支配株主への配当金の支払額	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,057	△398
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△72	△62
現金及び現金同等物の期首残高	3,209	3,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,137	3,271

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,138	15,357	8,257	4,692	33,445	—	33,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	17	154	201	429	△429	—
計	5,194	15,374	8,411	4,893	33,875	△429	33,445
セグメント利益	149	269	57	295	771	△88	683

(注) 1. セグメント利益の調整額△88百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,742	15,237	7,371	4,194	32,545	—	32,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	30	124	68	255	△255	—
計	5,775	15,267	7,495	4,262	32,800	△255	32,545
セグメント利益	152	296	49	181	680	△72	607

(注) 1. セグメント利益の調整額△72百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。